



地域振興を願い夏祭り！



太美商工振興会(新森道博会長)主催による「太美夏祭り」がJR石狩太美駅前のスウェーデンプラザで開催されました。

この日は朝から強い日差しが照り続け、夕刻の開場を待ちわびた来場者たちは、ビールなどの冷たい飲み物を手にバンド生演奏のステージイベントなど、夏の賑わいを楽しみました。(8月6日)

ゆめのたね文庫オープン！



4年前に閉館した緑町の「当別こども図書館」が「ゆめのたね文庫」としてリニューアルされ、そのオープニングイベントが行われました。イベントではテーブルカットや「おはなし会」などが催され、参加者は憩いの場の新たなスタートに目を輝かせていました。

NPO法人ゆめの種子トーベツが運営する「ゆめのたね文庫」の開館は、毎週水曜日午後1時～4時。歴史的建造物をリノベーションした建物で、大変趣がある空間となっています。皆さんもぜひ一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。(8月11日)

当別の自然と食材を満喫



昨年から新篠津村と協議会を設置し、東京都中野区との連携事業を展開しています。昨年は、冬のツアーでしたが、今年は「親子で自然&農業体験ツアー」として、夏に実施しました。5組14人の参加者が当別町と新篠津村を訪問しました。当別町では、道民の森で「小鳥の鳴き声のような音が出る」バードコールの作成やアスパラ、とうきびなど、盛りだくさんの野菜とジンギスカンや豚肉でのバーベキューを楽しみました。参加者たちは、当別産の食材をとっても美味しく食べていました。

(8月19日)

広告

広告

広告

広告

墓地の清掃ボランティア



当別町赤十字奉仕団員のボランティアによる墓地清掃が、大粒の雨が降るなか東裏墓地を含む町内の墓地で行われました。

この活動は、同団員が居住する地域の墓地をそれぞれが担当。墓参りが落ち着いたこの時期に、供物などが散らかることがないように、毎年町内の各墓地をきれいにしています。

墓に供物を放置したままだとカラスや野生動物を引きつけ、供物が散乱してしまいます。墓参り際には、供物やごみの持ち帰りに引き続きご協力ください。

(8月22日)

地域福祉町民セミナー



「わがまちの“暮らしやすさ”とは？」というテーマで、専門家である堀田聡子さん、五十嵐智嘉子さん、大竹雄二さんのお話を聞きました。暮らしやすいまちを作るには、行政内の連携と専門家、多世代の住民が一体となって意見を出し合い共通の認識をひろめることが重要と話されていました。

ワークショップでは、まちを暮らしやすくするための意見交換が、活発に行われました。特に交通や買い物・医療についての意見が多く出され、参加者全員でこれらの問題を共有しました。

(8月24日)



広 告

広 告

広 告

広 告